

えがお

がん教育



新宿区立西新宿中学校
保健室

がんについて正しい知識を知り、いのちと健康の大切さを学ぶ 「内科医によるがん教育」

JCHO東京新宿メディカルセンター内科 清水秀文先生

20日(木)6校時の道徳は、津久戸町にあるJCHO東京新宿メディカルセンター内科医の清水秀文先生から「がん教育」をしていただきます。

事前アンケートは、1月に実施済みですが、みなさんは「がんという病気」についてどう考えていますか?「怖い病気」「治らない」「治療が難しい」「手術や抗がん剤治療をしなければならぬ病気」「死」などいろいろなイメージを持っていることと思います。事前アンケートに詳しく病気のことについて書いてくれた人もいました。

日本は、男性3人に2人、女性に2人1人ががんにかかるという世界でも有数のがん大国です。欧米の国々では、減少しているがん死亡数も日本では増え続けています。いまだに高い喫煙率、低い検診受診率などの課題も抱えています。

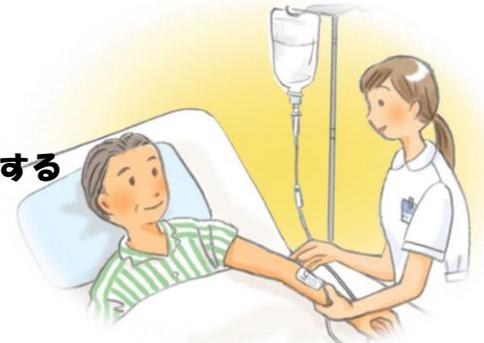
講師の清水先生のお話を聴いて、みなさんひとりひとりが、がんについて正しく理解すること。健康といのちの大切さを知り、自分の健康を守りいのちを大切にすることができるようになってもらいたいと願っています。

がん教育の目標 文部科学省

- ① がんについて正しく理解できるようにする
- ② 健康といのちの大切さについて主体的に考えられるようにする

がん教育を受けた中学生の感想を紹介します!

- 早期発見治療すれば治る病気だということがわかった。
- がん検診の大切さがわかった。家族にもがん検診を勧めたい。自分も受ける年齢になったら、必ず毎年受けたい。
- もし身近な人ががんになってしまったら、全力でサポートしたい。



保護者の皆様

ご家庭の事情等でお子様がこの授業に参加することが難しい場合は、下記の連絡票を保護者の方に記入していただき担任へ提出してください。(必ず保護者の方がご記入ください)

切取り線

がん教育授業連絡票

がん教育の授業には参加できません。
理由:

2年 組 氏名

保護者名

印